



# とねっと協議会だより VOL.9

【参加施設数】 112（中核施設11、病院・診療所96、検査施設5） 【参加住民数】 27,237人（2月29日現在）

発行日／ 平成28年3月22日 発行／ 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会事務局  
電話番号／ 0480（63）0003 FAX／ 0480（63）0033 URL／ <https://sites.google.com/site/tonetsince2012/>

平成28年3月15日(火)に第12回臨時総会を開催しました。総会では4項目の報告がされ、また、5つの議題について協議が行われました。

## ●現行システムの評価結果を報告

稼働から3年半余が経過した中、今後も「とねっと」を継続・発展させていくために必要な対策を検討するために行った現行システムの評価結果が報告された。

### 【報告の概要】

- ・救急医療面での活用が進んでいる。
- ・連携パス機能が糖尿病重症化予防に効果を上げている。
- ・病院・診療所の処方情報の共有化や端末の小型化など、より使い勝手の良いシステムに改善する必要がある。
- ・地域格差の解消に向け、医療圏外の地域にある医療機関の加入についても具体的な検討を進める必要がある。
- ・県が検討している医療介護連携システムと「とねっと」との連携利用についても検討していく必要がある。

## ●平成28年度事業計画と収支予算を議決

システムの保守や普及・啓発の実施、シンポジウムの開催などを内容とする平成28年度の事業計画と収支予算が決定されました。

### 【予算の概要】 (単位：千円)

収入 17,299 (負担金11,238、事業収入6,060 など)  
支出 17,299 (事務局費11,238、保守費5,282など)

## ●平成28年度の各種契約締結を事前承認

県立循環器・呼吸器病センターと県立がんセンターのサービス利用・保守、県救急医療情報システムと「とねっと」の接続に係るサービス利用・保守の3つの契約案件について、それぞれ平成28年4月1日に契約締結することが承認されました。

### 【契約の概要】

- ・循環器・呼吸器病センター関係 1,604,448 円
- ・がんセンター関係 1,604,448 円
- ・救急医療情報システム関係 2,073,600 円

## ◆◆◆ お知らせ ◆◆◆

## ●シンポジウムを開催しました。

3月5日(土)、行田市教育文化センターで地域医療ネットワークシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、伊関 友伸 先生(城西大学経営学部教授)の講演とパネルディスカッションを行い、参加した225名の住民や医療関係者が、地域医療の現状や「とねっと」を活用した医療連携について一緒に考えました。

## ●とねっとカードの「紐付け」をお願いします。

患者情報の登録・参照には、各医療機関で患者様のカードIDを「とねっと」に登録していただく必要があります。協議会事務局による「紐付け」作業の代行も可能です。ぜひ、ご利用ください。

## ●協議会事務局費負担金(平成28年度分)の納入をお願いします。

4月以降、各医療機関の皆様にご連絡させていただきます。ご協力をお願いいたします。

### 【負担金額】

- ・中核施設 年額 50,000円
- ・病院 年額 20,000円
- ・診療所 年額 10,000円

## ◆◆◆ コラム ◆◆◆

協議会副会長 久喜市長 田中 暄二 さん

医療を取り巻く情勢は、大きな転換期を迎えており、殊に、団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、大幅な医療需要の増大が見込まれるものの、埼玉県は人口10万人対医師数が全国の中でも少なく、現在、医師確保の対策が図られているところでございます。



利根保健医療圏の7市2町におきましては、限りある地域の医療資源を活用する方策の一つとして、先駆的に地域医療ネットワークシステム「とねっと」による医療連携が平成24年7月から本格稼働したところでございます。これまでの着実な事業の成果に対し、協議会の皆様をはじめ、医師会、医療機関の先生方のご理解とお力添えの賜物と心から感謝申し上げます。

4年目を迎えた昨年8月には、協議会事務局において、システム更新に向けたアンケート調査を各医療機関等へ実施しましたが、現行システムや「とねっと」の参加に対する多くの課題が寄せられたところでございます。

地域住民の皆様が安心して質の高い地域医療を受診できるよう、魅力あるシステム構築に向け行政一丸となり、医師会の先生方からご教示を賜りながら、更なる医療連携の充実或いは、在宅医療介護システムとの連携を視野に入れた「とねっと」の有効活用等、協議してまいりたいと考えております。